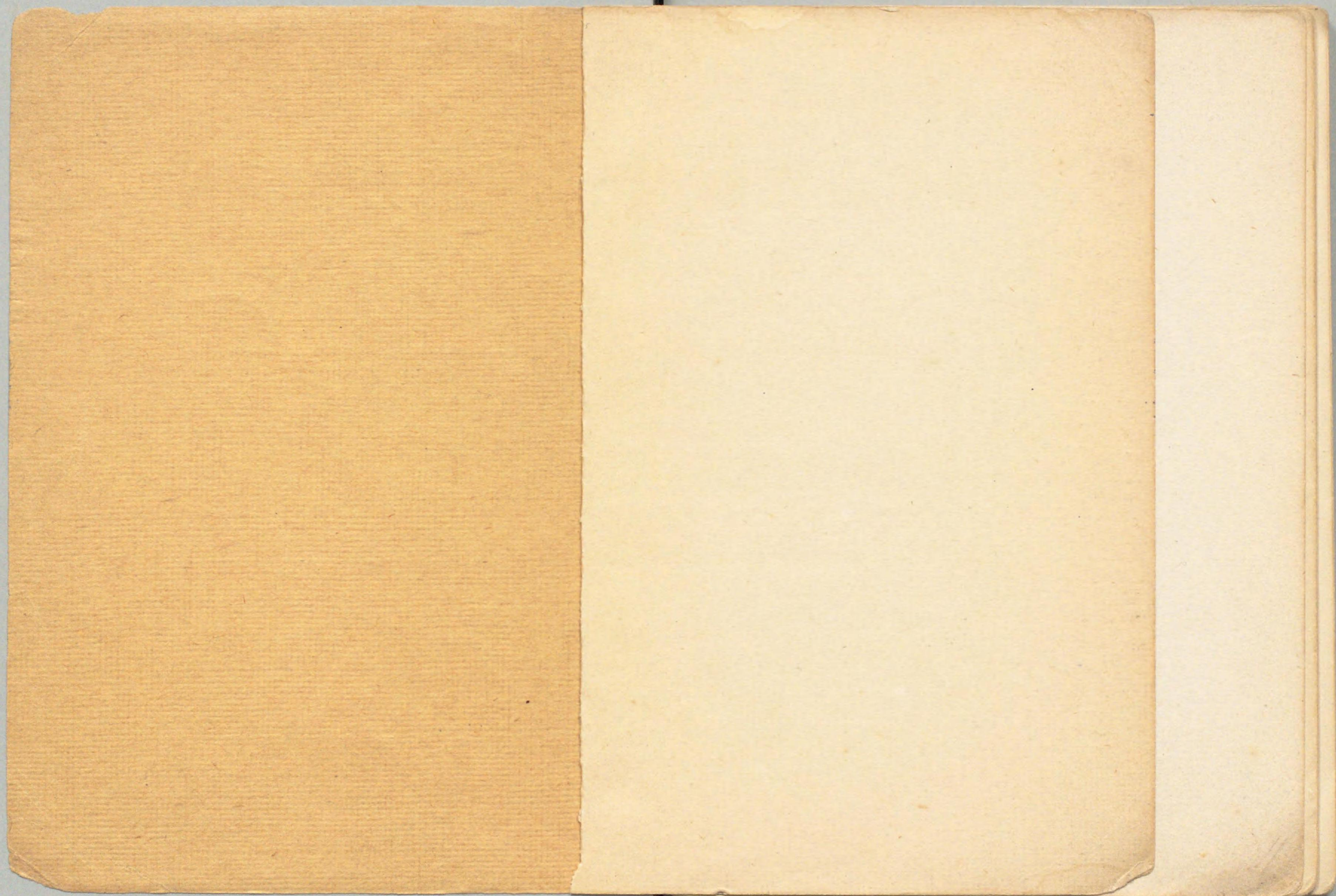


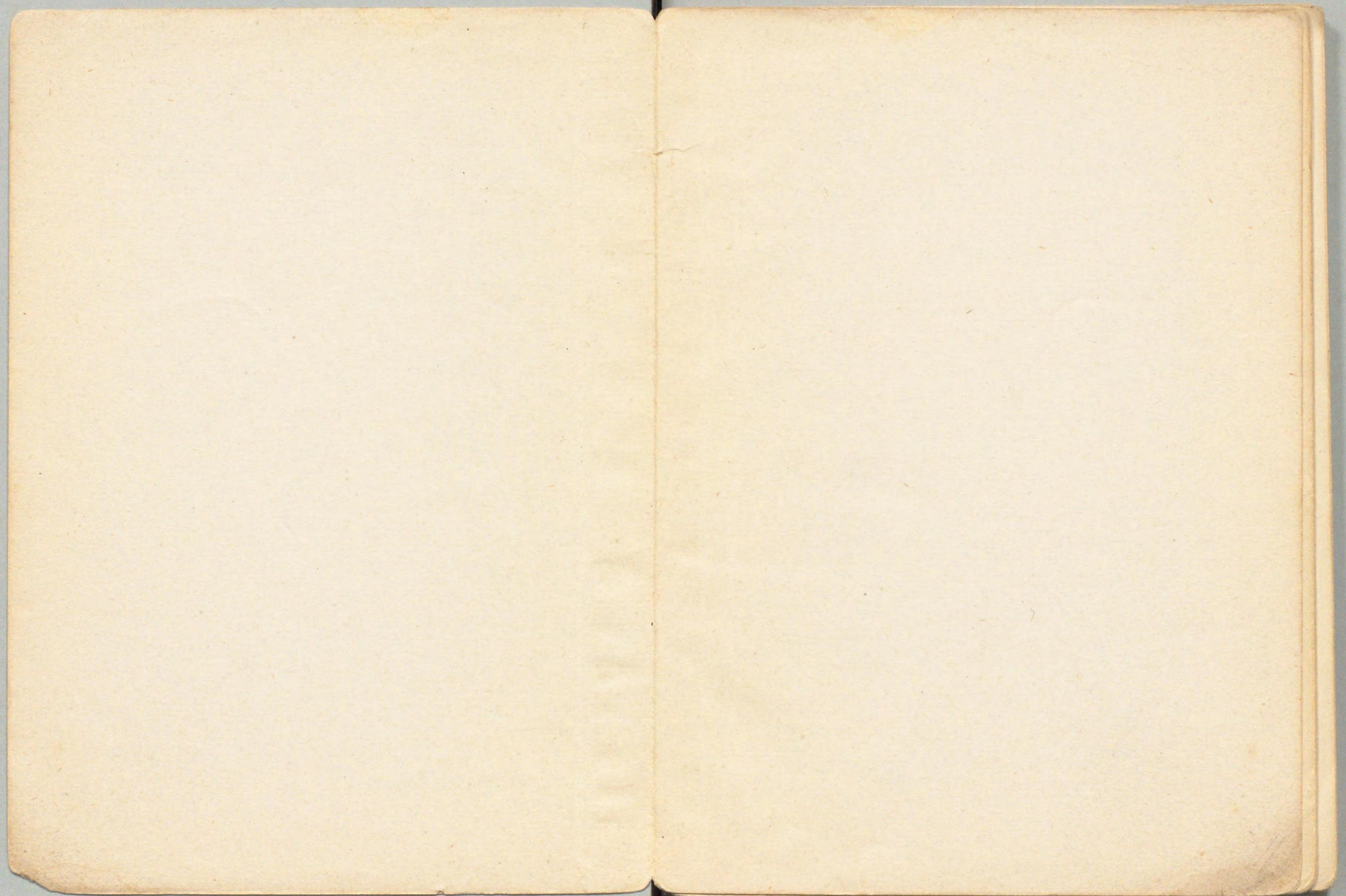
簡約方言手帖

東條操編

縣 郡
方言
年 月 調查

郷土研究社發行





東 條 操 編

簡約方言手帖

縣 郡

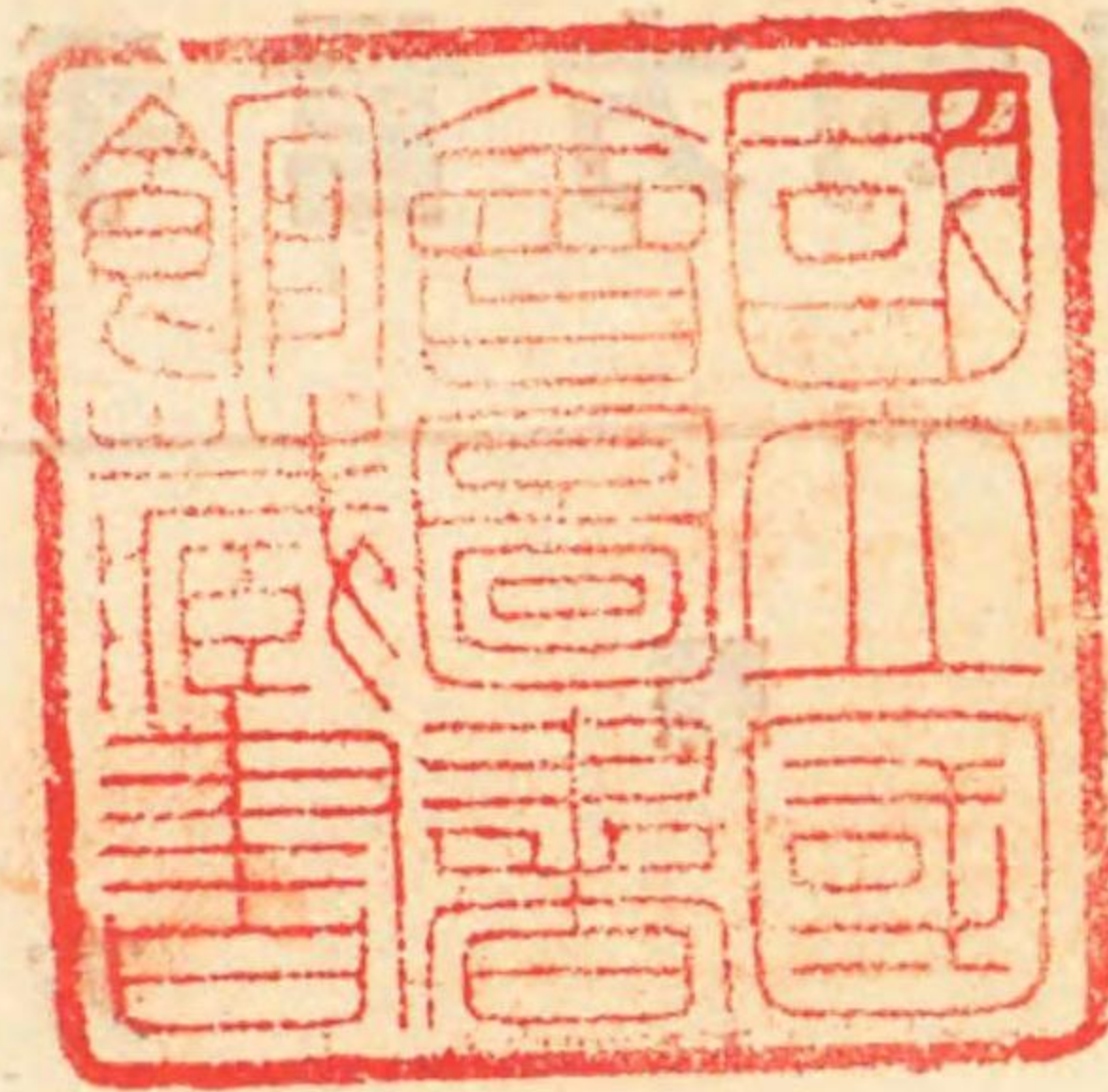
方 言

年 月調查

調 查 者

調查地及調查方法

郷土研究社發行

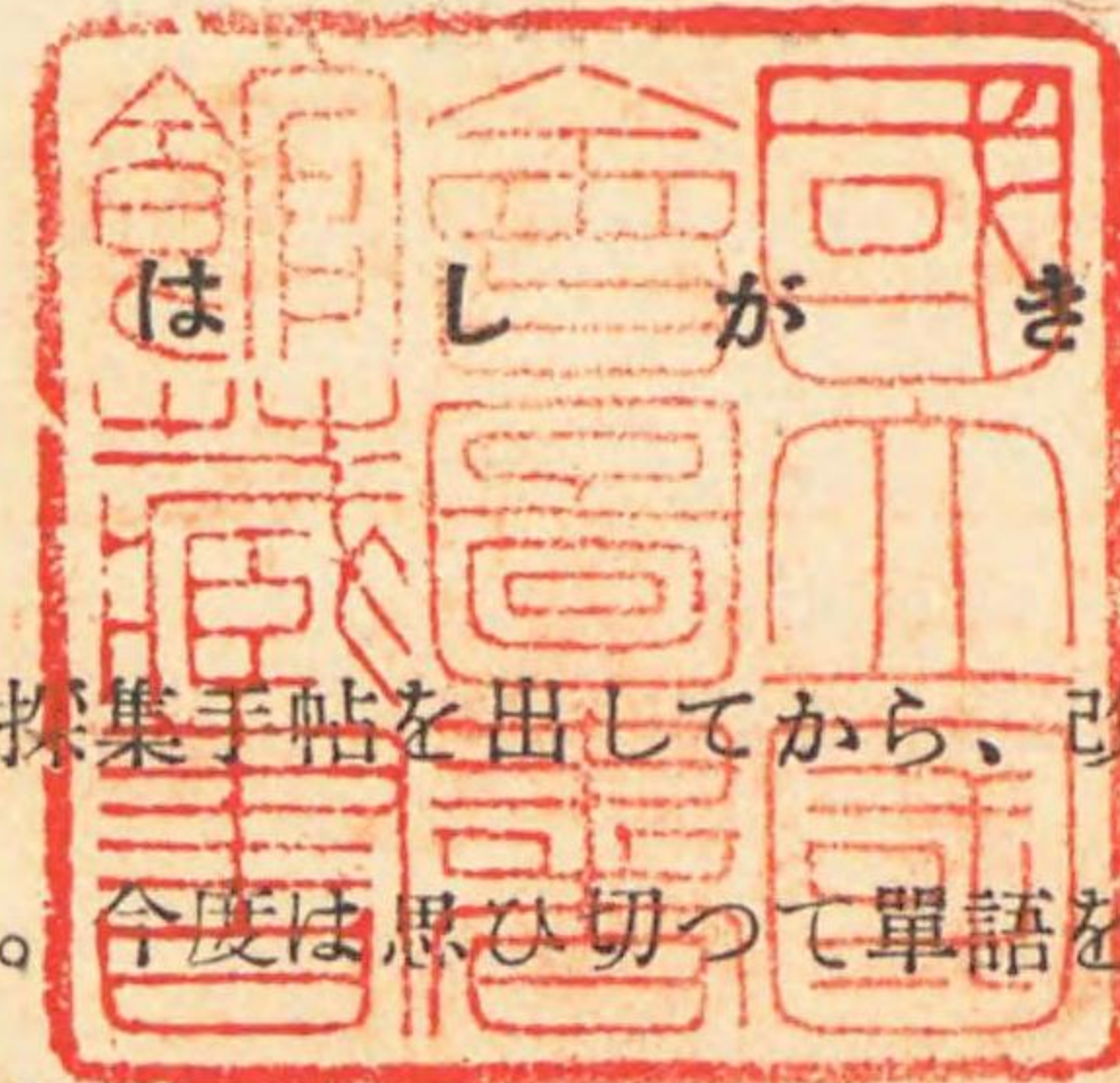


818
Tob36k2



260931

818, Tob36k2



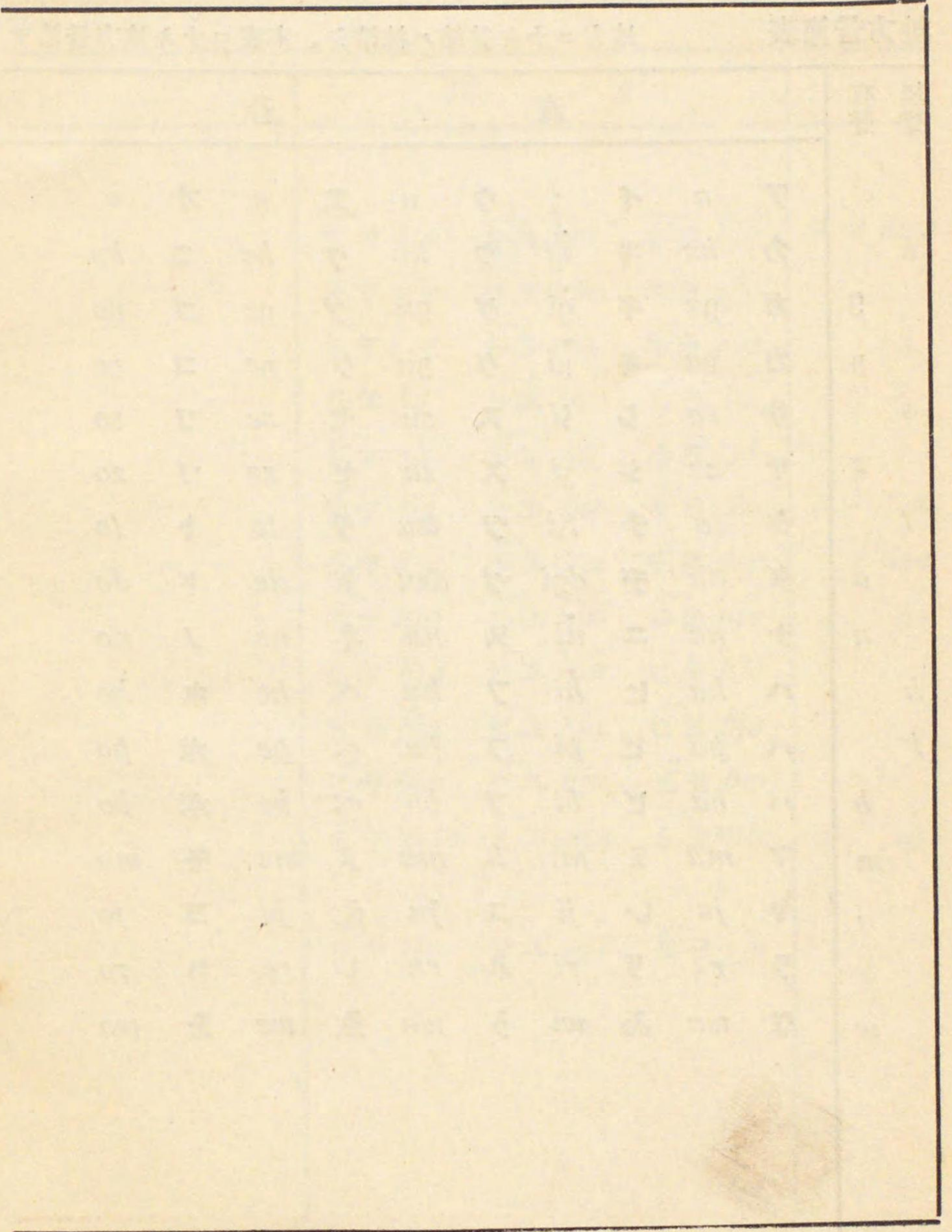
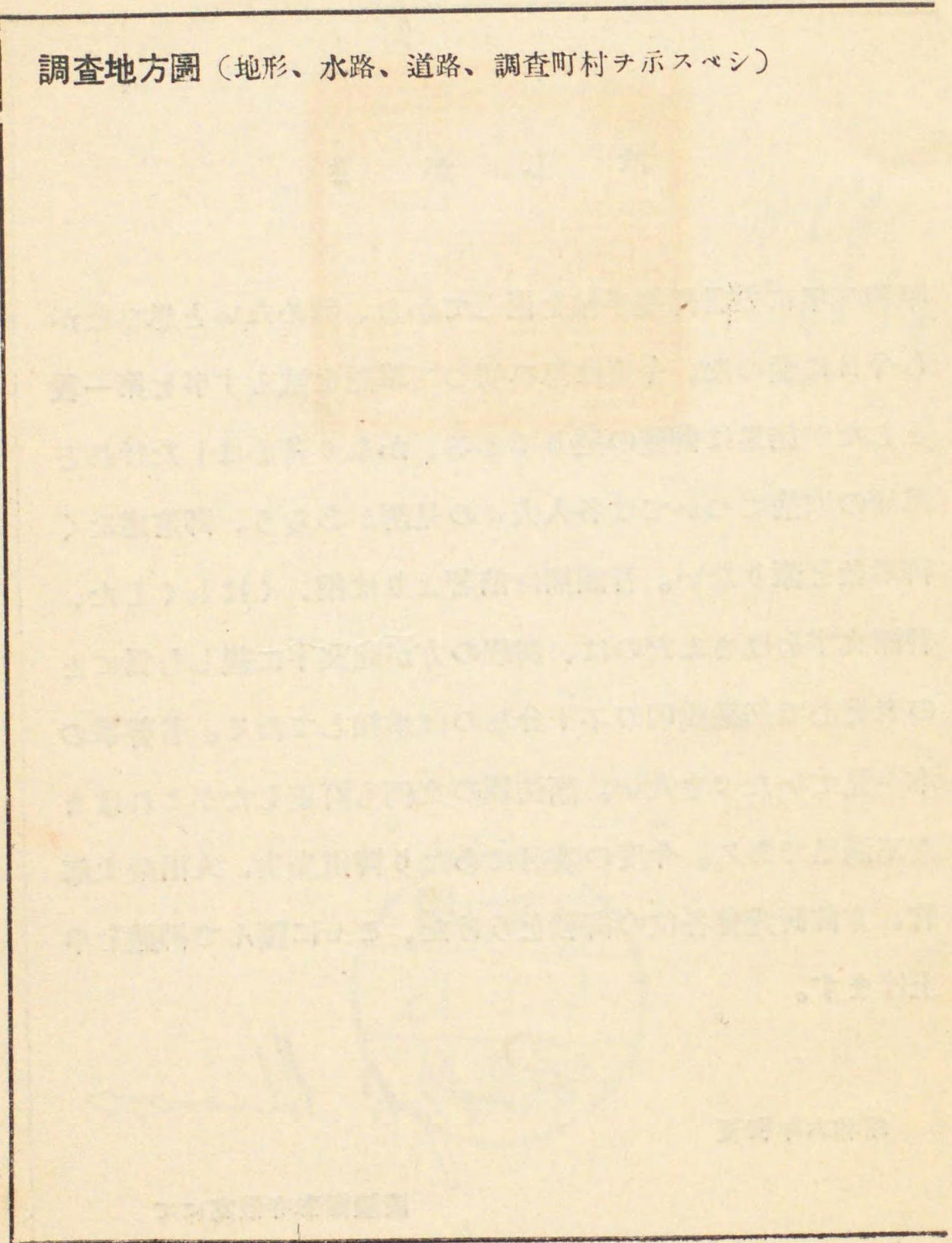
昭和三年に方言採集手帖を出してから、改めたいと思ひながら今日に至つた。今度は思ひ切つて單語を減らす事を第一義としたが結果は御覽の通りである、かなり苦心はしたけれど單語の取捨については各人夫々の見解があらう、御遠慮なく御示教を蒙りたい。音韻篇は前著よりは稍、くはしくした、音標文字をはさんだのは、初學の方が此文字に親しむ爲にとの老婆心で勿論説明の不十分なのは承知してゐる。音聲學の本を見ていたゞきたい。語法篇の文例も訂正したがこれはまだ不満足である。今度の改訂にあたり柳田先生、大田榮太郎君、方言研究會各位の御教をうけた、こゝに謹んで御禮を申し上げます。

Todyo Mino

昭和六年初夏

廣陵國泰寺假寓にて

調査地方圖 (地形、水路、道路、調査町村ヲ示スベシ)



地方音節表

地方ニナキ音節ハ抹消シ、本表ニナキ地方音節ヲ

無聲	有聲	直				音					
		ア	a	イ	i	ウ	u	エ	e	オ	o
k		カ	ka	キ	ki	ク	ku	ケ	ke	コ	ko
	g	ガ	ga	ギ	gi	グ	gu	ゲ	ge	ゴ	go
	ŋ	ガ	ŋa	ギ	ŋi	グ	ŋu	ゲ	ŋe	ゴ	ŋo
s		サ	sa	シ	si	ス	su	セ	se	ソ	so
	z	ザ	za	ジ	zi	ズ	zu	ゼ	ze	ゾ	zo
t		タ	ta	チ	tʃi	ツ	tsu	テ	te	ト	to
d		ダ	da	ヂ	dʃi	ヅ	dzu	デ	de	ド	do
n		ナ	na	ニ	ni	ヌ	nu	ネ	ne	ノ	no
h		ハ	ha	ヒ	hi	フ	hu	ヘ	he	ホ	ho
p		パ	pa	ピ	pi	プ	pu	ペ	pe	ポ	po
	b	バ	ba	ビ	bi	ブ	bu	ベ	be	ボ	bo
m		マ	ma	ミ	mi	ム	mu	メ	me	モ	mo
	j	ヤ	ja	イ	ji	ユ	ju	エ	je	ヨ	jo
	r	ラ	ra	リ	ri	ル	ru	レ	re	ロ	ro
	w	ワ	wa	ゐ	wi	う	wu	ゑ	we	を	wo

餘白ニ記入スベシ

拗音							
キヤ	kja	キユ	kju	キヨ	kjo	クワ	kwa
ギヤ	gja	ギユ	gju	ギヨ	gjo		
ギヤ	ŋja	ギユ	ŋju	ギヨ	ŋjo	ン	ŋ
シヤ	sa	シユ	su	シヨ	so		
ジヤ	ʒa	ジユ	ʒu	ジヨ	ʒo		
チヤ	tʃa	チユ	tʃu	チヨ	tʃo	ツア	tʃa
ヂヤ	dʃa	ヂユ	dʃu	ヂヨ	dʃo	ヅア	dʃa
ニヤ	nja	ニユ	nju	ニヨ	njo	ン	n
ヒヤ	hja	ヒユ	hju	ヒヨ	hjo		
ピヤ	pja	ピユ	pju	ピヨ	pjo		
ビヤ	bja	ビユ	bju	ビヨ	bjo		
ミヤ	mja	ミユ	mju	ミヨ	mjo	ン	m
リヤ	rja	リユ	rju	リヨ	rjo		

音 節 表 説 明

1. 前頁ノ音節表ハ音節ノ種類ヲ示ストトモニ發音表記法ヲ表示スルニ使フ
2. 片假名ニテ示シタ音節ハ標準音ニテ、ソノ次ニ之ニ對スル音標文字ヲ附記シタ
3. 國語ノウ母音ハ圓口母音デナイタメニ *u* ニテ示スヲ普通トスルガ舌ノ位置ハ *u* ト同一デナイ、假ニ *u* ニテ表ハス
4. 母音ノイヲ含ム音節ノ子音ハ悉ク口蓋化サレテ音質ヲ變ズ、今ソノ主要ナモノダケニツキ *si, tsi, ki, gi, ji, ni, hi* 等ニテ表ハス
5. ジチ又ハズツノ東京音ハ *zi, dzi*, 又ハ *zu, dzu* ノ中間音デア
ル、假ニ本手帖ニテハ **ジ、ズ**ニ入レテオク
6. ハ行ノヒ、フニツイテハ *çi, fu* ト記ス人モアルガ、佐久間
神保兩氏ノ説ニヨツテ *hi, hu* ニテアラハス
7. ラ行ノ子音ハ便宜上假ニ **ル** ニテ表ハスガ地方音ニツイテハ、
ナルベク其調音法ヲ詳記セラレタイ
8. 鼻音ニハ少クモ三種ヲ分チ得ルガ便宜上假名デハンニテ一様
ニ表ハス。必要ノ場合ニハ音標文字ヲ利用セラレタイ

9. い、え、ゐ、う、ゑ、を等ノ平假名ニテ表ハシタ音節ハ標準
音ニ無イモノデア
ル
10. 音聲學ニツイテハ次ノ諸書ヲ參考スルトヨイ

佐久間 鼎	日本音聲學 (京文社)
神保 格	國語音聲學 (明治圖書株式會社)
小倉進平	國語及朝鮮語發音概説 (京城、近 澤出版部)
プレトネル	實用英佛獨露ノ發音 (同文館)
森 正 俊	<i>The Pronunciation of Japanese</i> (ヘラルド社)
音聲學協會々報	(東京小石川竹早町120. 同會)

市 河 三 喜	萬國音標文字 (光風館)

音 表 記 法

1. 音ノ表記ハ音標文字ニヨルノガ理想デアル
2. 音標文字使用ニ熟シナイ人ハ次ノ規則ニヨツテ假名文字ヲ使用シタ方がヨイ

假 名 表 記 規 則

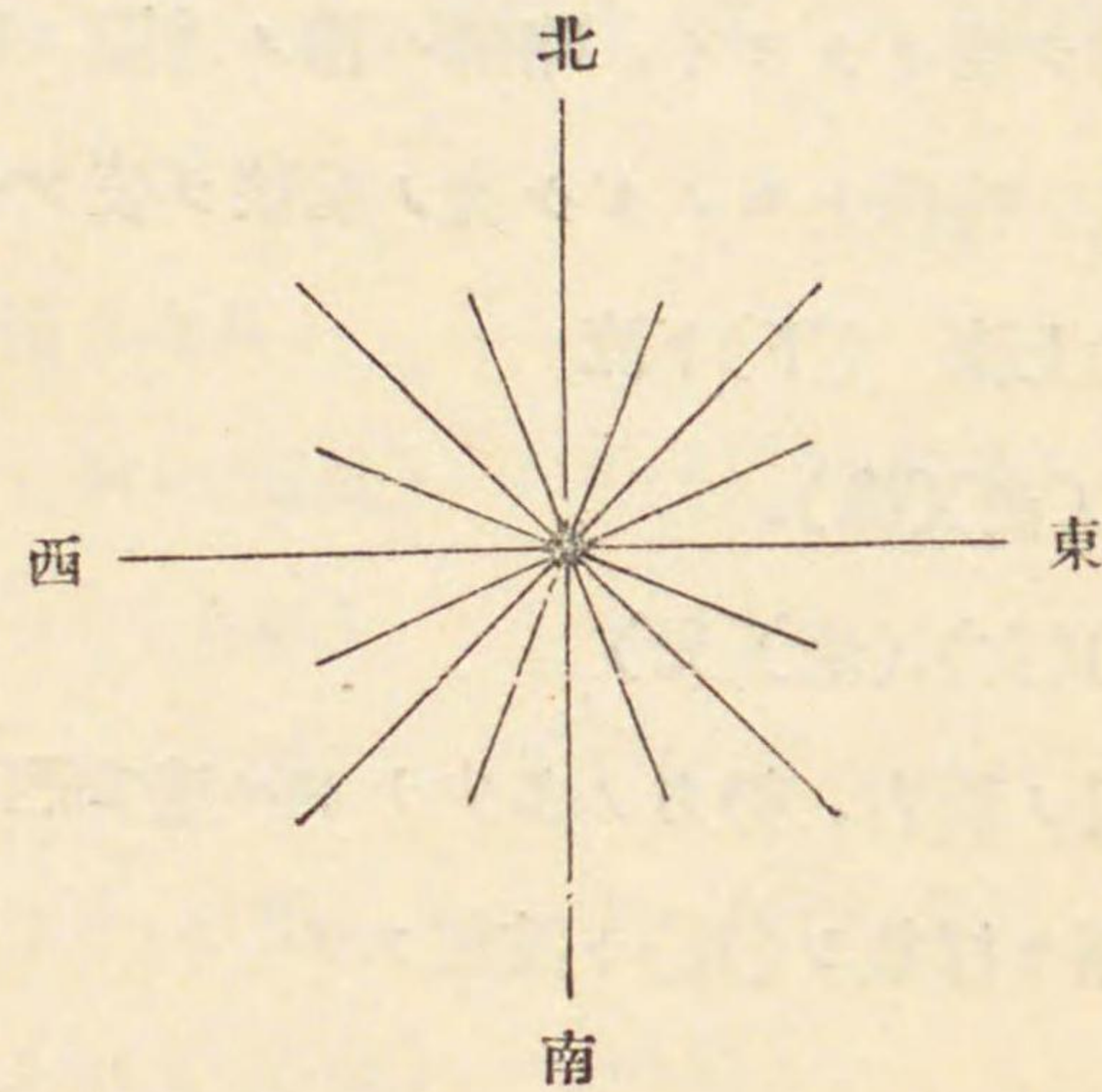
1. 標準音ハ片假名ニテアラハス
2. 標準音中ニナイ地方音ハ類似音ヲ表ハス平假名デアラハシ、調音法ノ説明ヲ記ス
3. 發音的假名遣ニヨル
4. 拗音 シヤシン(寫眞) シューシン(修身)
 クワジ(火事)
5. 促音 リツバ(立派) イツシン(一心)
6. 長音 サトー(砂糖) イコー(行かう)
7. 鼻音 シンバイ(心配) シマ(馬)
8. アクセント 下ニ線ヲ引イテ所在ヲ示ス
 ハシ(橋) ハシ(箸) ハシ(端)

語 彙 編

1. 標語ノ次ニ片假名デ示シテアルノハ標準語又ハ東京語デアアル
2. ソノ標準語ヲ地方デ使用シナイ場合ニハ之ヲ抹消シテシマフ
コト
3. 單語ノ次ニ短文ノアル場合ハソノ短文モ方言譯スル
4. 單語ニハ方言ヲ記シ、必ズソノ使用地方區域ヲ明示スル、コレハ略稱ヲ用キテヨイ、略稱ハ豫メ地圖ニ記入スル
5. 使用階級ノ特殊ナモノダケ次ノ記號ヲ使ツテ表ハス
 (上)上流 (下)下流
 (農)(商)(漁)、
 (男)(女)、(老)(兒)
6. 其他使用ノ新古、勢力ノ多少ナドハ適宜記入スル
7. 廢語死語モ採集シ(死)ト註記スル

第一 天文地理

風位ノ方言ヲ下ノ圖ニ記入。季節、強弱等モ記入ノコト



風位考 柳田國男氏(愛媛縣周桑郡郷土研究彙報)參照

1	太陽	オヒサマ	月
2	參星*	ミツボシ	
3	入道雲	ニユードーグモ	
4	雷	カミナリ	落雷する
5	梅雨	ツユ	
6	氷	コーリ	氷がはる
7	氷柱	ツララ	
8	霜柱	シモバシラ	
9	霰	ミゾレ	
10	旋風	ツムジカセ	嵐

註 1. アトサマ、ノノサマ、オテントサマ、ノ如キ兒童語ヲ
採集スベシ
2. 星ノ名ハ異名多シ、北斗星、昴星等補充欄ニ補充スベシ
(*ハ種類ノ多キ印ナリ)
7. 虹ト垂氷トノ方言 柳田(音聲ノ研究第三)

11	昨夜 ユーベ	
12	一昨夜 オトトイノバン	
13	明々後日 シアサツテ	
14	明々々後日 ヤノアサツテ	
15	夜明 ヨアケ	
16	朝 アサ	
17	夕暮 ユーガタ	
18	夜 ヨル	夜業 ヨナベ
19	終日 イチニチジユー	
20	終夜 ヨドーシ	

12. 一昨夜チ キノーノバント云フトコロアリ

13.14. 明々後日、明々々後日ハ地方ニヨリ異稱多シ

21	峰 ミネ	
22	山頂 サンチヨー	
23	峠 トーゲ	
24	坂 サカ	傾斜地
25	崖 ガケ	
26	洞 ホラ	
27	谷 タニ	
28	湿地 シツチ	
29	石地 イシジ	不毛地
30	叢 クサムラ	

21. オネ、ソネ、ツルネ等

21.-27. 山地方面ニテハ地形方言ヲ集メテ補充スベシ
72頁参照

地 名

特殊ナル地名ヲ漢字ニ假名ノヨミ方ヲ添ヘテ記載スベシ
 柳田國男氏ノ地名雜考(明治四三、歴史地理)地名考説(大正一五、
 民族)參照

大字 オーアザ

小字 コアザ

第二 動物植物

動植物ノ方言ハ元來専門家ノ集ムベキモノデアアル、素人デハ同
 物ト思ツテモ異物ヲサス場合ガアル、學名ヲアゲテ其方言ヲ求
 メルノガ理想デアアルガ、コレモ素人ニハ不便デアアル、以下ニ掲
 ゲル標語ハ一般ノ常識トナツテ居ルモノニ止メ、樹木名ノ如キ
 ハ方言ノカナリ多イモノデモ避ケテ掲ゲナイ、參考書ハカナリ
 アル

本草綱目啓蒙(小野蘭山)

狩獵鳥類方言(日本鳥學會)

鳥類ノ方言(農林省農務局)

日本樹木名方言集(山林局)

牧野富太郎博士ガ多年植物方言ヲ集メテ居ラレルガ、マダ公表
 ハサレナイ

田中茂徳博士ハ魚類方言ヲ集メテ居ラレル筈

41	犬	イヌ	(犬を呼ぶ詞)
42	鼬	イタチ	
43	鼠	ネズミ	
44	梟	フクロ	木兎 ミミズク
45	燕	ツバメ	
46	杜鵑	ホトトギス	郭公 カツコー
47	啄木鳥	キツツキ	
48	鶺鴒	セキレー	
49	魚狗	カワセミ	
50	鸚鵡	カイツブリ	

- 41. 犬ヲケシカケル時ノ言葉モホシイ
- 43. 鼠ニハ忌詞、隠語ガアル
- 46. 杜鵑ト郭公トハ異種
- 50. 鳩トモ云フ

51	割葦鳥	ヨシキリ	
52	五位鷺	ゴイサギ	
53	鶴鷄	ミソサザイ	
54	比目魚	ヒラメ	鰈 カレー
55	鮪	マグロ	
56	鰯	イナ	鰯 わらさ
57	鰯	ブリ	
58	鯉	コイ	鯉ノ子
59	鰻	ウナギ	鰻ノ子
60	鱧	スツボン	

- 56. 57. 幼魚ト成魚ト名ガ違フ

61	沙魚	ハセ	
62	杜父魚	カジカ	
63	丁斑魚	メダカ	
64	鱧	タナゴ	
65	蛇*	ヘビ	
66	蝮蛇	マムシ	
67	蜥蜴	トカゲ	金蛇 カナヘビ
68	蛙*	カエル	
69	蟾蜍	ヒキガエル	
70	蝸牛	カタツムリ	蛞蝓 ナメクジ

62. 蟲ニモ カジカ(河鹿)アリ、混ズベカラズ
 63. 全國メダカ方言集 佐藤清明(方言資料第二)
 65. 68. 種類ニヨリ方言多シ、補充スベシ
 70. 蝸牛考 柳田(言語誌叢刊)

71	蝶*	チヨウ	毛虫
72	蠶	カイコ	蠶蛾
73	蜻蛉*	トンボ	
74	蝗	イナゴ	飛蝗 バツタ
75	螞蟷	カマキリ	
76	砂扱子	アリジゴク	
77	水黽	アメンボ	鼓虫 ミズスマシ
78	蟻	アリ	蜂
79	水虎	カツバ	
80	化物	バケモノ	

71. 73. 種類ニヨル方言多シ補充スベシ
 75. 螞蟷考 柳田(土ノ色四ノ四)
 全國螞蟷方言集 佐藤清明(方言と土俗一ノ五)
 76. 蟻地獄全國方言集 佐藤清明(方言資料第二)
 80. イヌガミ、クダギツネ等、ガゴジ、モコ等

91	玉蜀黍 トーモロコシ	蜀黍 トーキビ
92	馬鈴薯 ジャガイモ	
93	甘藷 サツマイモ	
94	南瓜 トーナス	
95	蕃椒 トーガラシ	胡椒 コシヨ
96	蠶豆 ソラマメ	
97	春菊 シュンギク	
98	葱 ネギ	
99	茄子 ナス	
100	蕈 キノコ	

91.95. 玉蜀黍ト蕃椒 柳田(民族三ノ四)

93. 海南小記 柳田

101	堇 スミレ
102	白頭翁 オキナグサ
103	酸漿草 カタバミ
104	虎杖 イタドリ
105	石蒜 マンジュシヤケ
106	鴨跖草 ツユクサ
107	旋花 ヒルガオ
108	鳳仙花 ホーセンクワ
109	蒲公英 タンポポ
110	鼠麴草 ハハコグサ

101. 堇ノ方言 柳田(地上樂園二ノ七)

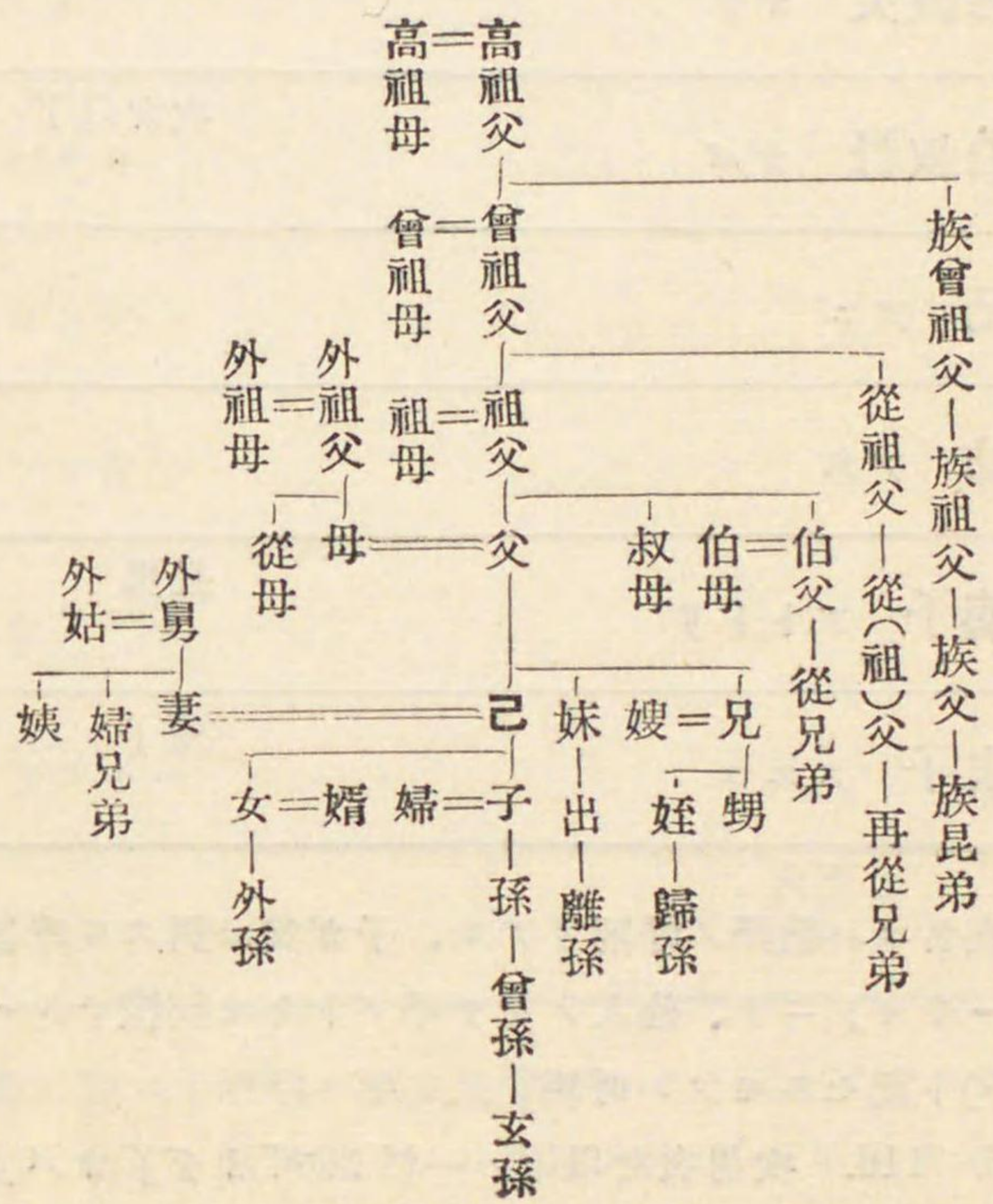
102. 翁草 橋正一(方言ト土俗一ノ一、一ノ九)

104. 虎杖 柳田(民族三ノ五)

全国イタドリ方言集 佐藤清明(周桑郡郷土研究彙報十)

第三 人倫肢體

親 屬 表



111	父	チチ	
112	(呼)	オト一サマ	
113	母	ハハ	乳母 ウバ
114	(呼)	オカーサマ	
115	伯叔父	オヂ	次男以上
116	伯叔母	オバ	次女以下
117	兄	アニ	
118	姉	アネ	
119	嫡子	アトトリ	長男
120	末子	スエコ	愛子

註 親族名ニハ敬語ノ呼稱ガアル、子ガ父ニ對スル呼稱ハ「オト一サマ」ニテ、他人ノ父ヲ呼ブトキモ同様ナルベシ、(呼)ト記セルモノハ呼稱。

115. 116. 次男次女以下ハ一括シテ「オヂ」「オバ」ト云ヒ長男ト區別スルコトアリ

120. 愛子トハ「ホンソゴ」「イトシゴ」ノ義。

121	主人	シユジン	旦那 ダンナ
122	主婦	シユフ	
		(呼)オクサマ	
123	息子	ムスコ	坊様 ボツチヤン
124	娘	ムスメ	嬢様 オジヨ一サン
125	後妻	ゴサイ	
126	本家	ホンケ	
127	分家	ブンケ	
128	親類	シンルイ	
129	血統	ケツト一	
130	私生兒	テテナシゴ	内證金

122. 主婦ニ對スル呼稱ハ職業身分ニヨリテ種々アルベシ

123. 124. 息子、娘ニ對シテハ敬稱ノ外ニ「ガキ」「アマ」ノ如キ卑稱アルベシ

130. 内證金トハ主人ニ知ラセズ、私ニ貯フル金ヲ云フ「ヘソクリガネ」ノ類

131 乳兒 アカンボ

132 子供 コドモ

133 青年 ワカモノ

134 大人 オトナ

135 老人 トシヨリ

136 下男 ゲナン

137 下女 ゲジヨ

138 食客 イソーロー

139 妾 メカケ

140 情婦 イロオンナ

137. 下女ニハ地方ニヨリ「オキヨ」「オハル」「オサン」「オマツ」ノヤウナ通名ガアル

141 馬鹿 バカ

142 怠惰者 ナマケモノ

143 臆病者 オクビヨ一モノ

144 意氣地無 イクジナシ

145 朝寝坊 アサネボー

146 寒がり坊

147 虚言者 ウソツキ

虚言 ウソ

148 饒舌家 オシヤベリ

149 お世辭者 オベツカ

お世辭を云ふ

150 お轉婆 オテンバ

151	吝嗇者	ケチンポー	儉約する
152	財産家	カネモチ	
153	道樂者	ドーラクモノ	
154	好色漢	スケベイ	
155	醉漢	ヨツパライ	
156	神官	カンヌシ	
157	市子	イチコ	
158	賣卜者	ウラナイ	
159	仲買	ナカガイ	
160	丁稚	コゾー	

157. 中山太郎「日本巫女史」

161	行商人	ギョーシヨウ	
162	桶屋	オケヤ	
163	土方	ドカタ	
164	獵師	カリユード	
165	魚屋	サカナヤ	
166	漁師	リョーシ	海女 アマ
167	女郎	シヨウロ	私娼
168	乞食	コジキ	
169	掏摸	スリ	
170	強盜	ゴートー	

167. 外骨「賣春婦異名集」

171	頭	アタマ	頭痛がする
172	旋毛	ツムジ	
173	突額	オデコ	
174	眉毛	マイゲ	
175	唇	クチビル	
176	齒	ハ	齒が痛い
177	唾	ツバ	唾をはく
178	痰	タム	痰をはく
179	咳	セキ	咳をせく
180	腹	ハラ	腹が痛い

176. 齒ニハ門齒、犬齒、白齒ノ類ヲ初メ八重齒、出齒、虫齒、奥齒、智齒ナドノ名稱アリ

181	指 ^キ	ユビ	
182	膝	ヒザ	膝頭
183	踵	カカト	踝 クロブシ
184	臀	シリ	肛門
185	男陰		小兒ノ陰
186	女陰		女ノ卑稱
187	月經	ツキノモノ	
188	黒子	ホクロ	
189	痣	アザ	
190	腫物	デキモノ	

181. 拇指、小指、中指、食指、無名指、特ニ無名指ヲ注意シタイ

186. 女ノ卑稱ハ女陰ト關係アルモノ多シ

191	感冒	カセ	風をひく
192	赤痢	セキリ	
193	癩癩	テンカン	
194	梅毒	バイドク	
195	痘痕	アバタ	麻疹 ハシカ
196	腋臭	ワキガ	
197	吃	ドモリ	吃る
198	啞	オシ	
199	片目	メツカチ	
200	火傷	ヤケド	

195. 日下部重太郎「國語百談」

人名につき

人名調査ニツキ注意スベキ點

1. 地方ニ特有ナル姓氏
2. 地方ニ特有ナル命名法、例ヘバ土佐ニテ猪ヲツケ、紀伊ニテ楠ヲツクル類
3. 迷信ヨリ來ル命名法、例ヘバあぐり、とめ、捨吉、他人ノ如キ類
4. 女子ノ三字名 はるえ、よしのノ類
5. 姓名ノ下ニツケル敬意ヲアラハス接尾語ノ種類

201	着物	キモノ	
202	晴着	ヨソユキ	
203	仕事着	シゴトギ	
204	寝間着	ネマキ	
205	筒袖	ツツソデ	
206	袖無	ソデナシ	
207	胴着	ドーギ	
208	肌着	ハダギ	襦袢 シバン
209	半天	ハンテン	羽織 ハオリ
210	襦袍	ドテラ	

203. 仕事着ト云フ汎稱デナクテモ、特殊ナ仕事着ヲ註テ
入レテアゲラレタイ

211	股引	モモヒキ	尻端折 シリハシヨリ
212	腰紐	コシヒモ	
213	男褌	フンドシ	女褌 ユマキ
214	洋傘	コーモリガサ	
215	足駄	アシダ	下駄ノ齒
216	駒下駄*	コマゲタ	
217	木綿糸	モメンイト	
218	綿	ワタ	
219	裁縫	サイホー	仕立直し
220	洗濯	センタク	

216. 下駄ニハ多クノ種類ガアル、補充シタイ

221	食事*	
222	副食物 オカズ	
223	糍飯 ゴモクメシ	
224	雑炊 オジヤ	
225	味噌 ミソ	味噌汁 オツケ
226	酒ノ肴 サケノリカナ	
227	刺身 サシミ	
228	蒲鉾 カマボコ	半平 ハンペン
229	口取 クチトリ	
230	糠味噌漬 ヌカミソズケ	

221. 食事ハ朝食、晝食、夜食ノ外ニ間食ヲトリ、多キハ一日六回ニ及ブモノモアル、ソレ等ノ名稱ト時間ナドヲ知リタイ

231	菓子 グワシ	
232	供餅* オソナエ	
233	飴 アメ	
234	炒 コガシ	
235	酢 ス	
236	草屋根*	簀 フキカエ
237	棟 ムネ	棟上祝
238	庇 ヒサシ	
239	物置二階 モノオキニカイ	
240	柱* ハシラ	

232. 餅ニハ搔餅、牡丹餅、汁粉餅等種類ガ多イ


236. 屋根ニモ瓦、板、草ナド葺方ノ種類ガ多イ

239. 地方ニヨリ「アマ」トカ「ツシ」トカ云フ類モコノ一種デアル

240. 柱ノ名ヲアゲタイ、大黒、小黒等

241	部屋*	ヘヤ	
242	爐ノ座席 (下圖ニ記入)		爐縁
243	臺所	ダイドコロ	流シ
244	竈	カマド	
245	井	イド	
246	小屋*	コヤ	
247	便所	ベンジヨ	
248	湯殿	ユドノ	
249	下水	ゲスイ	
250	屋敷林		

241. 玄関、客間、茶ノ間、寢間ノヤウナ部屋ノ名ヲアゲ
其間取ハ39頁ノ間取圖ニ圖示スルコト

242. (イ) (イ)主人座
(ロ)主婦座

 (ハ) 爐 (ロ)
 (ニ) (イ)

246. 木小屋、牛小屋、肥料小屋

250. 防風林ナリ

251	押入	オシイレ	
252	窓	マド	引窓 ヒキマド
253	雨戸	アマド	棧 サン
254	庭*	ニワ	
255	土間*	ドマ	
256	上リ口	アガリグチ	
257	燃料*	タキツケ	
258	マツチ		附木 ツケギ
259	松葉	マツバ	
260	塵芥	ゴミ	

254. 庭トハ造庭ニテ庭園ト云ハレルモノ、中庭、裏庭ナ
ドモ含ム

255. 土間ニハ前庭、後庭ノ外ニ家内ヲ貫通スルモノモアリ

257. 燃料トナルベキモノニハ薪、大枝、小枝ノ類種々アリ

259. 松ノ落葉ナリ、燃料用

261	陶器	セトモノ	
262	椀	ワン	茶碗 チヤワン
263	箸	ハシ	
264	飯杓子	シヤモジ	
265	米櫃	コメビツ	
266	摺鉢	スリバチ	
267	摺木	スリコギ	
268	俎板	マナイダ	
269	庖丁	ホーチヨウ	
270	小刀	コガタナ	

271	徳利	トクリ	
272	長火鉢	ナガヒバチ	
273	五徳	ゴトク	
274	十能	ジユウノ	
275	七輪	シチリン	
276	釜	カマ	茶釜 チヤガマ
277	箆	ザル	
278	束子	タワシ	
279	水甕	ミズガメ	
280	桶*	オケ	擔桶

276. 釜ニハ飯ヲタク釜ト、茶釜トアル、琴ト記シマハ
前者デアル

280. 桶ニハ種類極メテ多シ

第五 人事、年中行事

1. 人事ニハ出生ヲ初メトシ冠婚葬祭ニ關スル語彙及ビ遊戯ニ關スルモノヲ收メタ
2. 年中行事ハ地方ニヨリ多大ノ相違ガアルノデ標語ハ掲ゲナイガ次ノ方針デ記載シタイ
 - い、正月小正月ニ關スル行事（煤掃、門飾、廻禮、若水、齒固、七草、鏡開、果樹責、左義長等）
 - ろ、五節句ニ關スル行事
 - は、神祭ニ關スル行事
 - に、佛事ニ關スル行事（涅槃、彼岸、盂蘭盆、十夜、會式等）
 - ほ、職業ニ關スル行事
3. 年中行事ニハ次ノ三項ハ必ズ記サレタイ
 - (1) 行事名、(2) 行事ノ行ハレル月日時間、(3) 行事關係ノ特殊ナル事物名ト簡單ナル説明
 - ナホ月日ハ新舊ノ何レナルカヲ明記ノコト

291	妊婦	ハラミオンナ	石女	ウマズメ
292	岩田帯	イワタオビ		
293	忌屋			
294	産婆	サンバ	子を産む	
295	出産祝			
296	産衣	ウブギ		
297	襦袢	オシメ		
298	宮詣	ミヤマイリ		
299	嬰兒籠			
300	おしやぶり	オシヤブリ		

293. 忌屋ハ他屋トモ云フ、月ノ穢レアル女、又ハ産婦ナ
ドノ別居スル家
295. 三ツ目、七夜等
299. 藁ナドニテ作り赤兒ヲ入レオク籠

301	紙鳶*	タコ		
302	獨樂	コマ		
303	お手玉	オテダマ		
304	竹馬	タケンマ		
305	飯事	ママゴト		
306	片足飛	チンチンモガモガ		
307	石拳	ジャンケン		
308	鬼事	オニゴツコ	隠鬼	
309	根木打			
310	人形*	ニンギョー		

306. チギリコツコ考 柳田國男
307. ジャンケンノ種々相 佐藤清明(周桑郡彙報第九)
全国ジャンケン稱呼集 佐藤清明(方言ト士俗一ノ八)

311	許嫁	イイナズケ	
312	見合	ミアイ	
313	媒酌人	ナコード	
314	結納	ユイノー	
315	婚禮	コンレイ	
316	花嫁	ハナヨメ	妻 ツマ
317	里歸	サトガエリ	
318	野合		
319	離縁	リエン	
320	寡婦	ヤモメ	寡夫

321	病氣	ビヨーキ	看護する
322	怪我	ケガ	
323	葬儀	ソーシキ	
324	葬送	ノマオクリ	蓮臺
325	骨拾	コツアゲ	
326	墓地	ボチ	
327	穴堀人	アナホリ	
328	遺品分	カタミワケ	
329	一周忌	イツシユーキ	法事
330	喪服	モフク	服忌

月 日	

第 六 雜 載

1. 補遺ニハ以上ノドノ部門ニモ入ラナイ言葉ト農村、漁村、山村等ノ特殊ナル地方ニ限り行ハレル言葉ヲ收メタ
2. 農村、漁村、山村ノ言葉ニ番號ヲツケナイノハ、之等ノ語彙ハカ、ル特殊ナ地方ヲ採集セラレル人ダケニ記入シテイタダクノデ、本書ニ所謂標語デナイタメデアル
3. ナホ、採集地ノ特殊性ニモトヅキ市場用語ナリ鑛山語彙ナリ養蠶製絲ニ關スル言葉ナリ、適當ニ補ヒタイ
4. 農村ニ關スル語彙ハ民俗研究ノ諸雜誌類ニ見エテ居ル、

日本農民史語彙 小野武夫

漁村ニ關スルモノデハ

水上語彙 幸田露伴

漁村語彙 齋藤要八(郷土研究四ノ三)

漁夫の言葉 木下虎一郎(方言資料第一)

山村ニ關スルモノデハ

獵人語彙 (大阪朝日)

後狩詞記 柳田國男

331	祭前夜	ヨミヤ	
332	祭	オマツリ	
333	祭翌日		
334	山車	ダシ	
335	饗應	チソー	酒宴
336	會飲	ダシアヒ	
337	土産	ミヤケ	
338	祝儀	シユーキ	心付
339	返禮	ヘンレイ	御移
340	釣錢	ツリセン	

336. 宴會ニハ一人ガ散財スル場合ト、各人ガ出シアヒテ
スル場合トアル、ソノ後者ノ場合

338. 心付トハ使ニ來タリシ下女、小僧ナドニ金品ヲ與フ
ルヲサス

339. 物ヲ贈ラレシ時ニ、返シニ半紙ヤ附木ナドヲ入ル、
ハ何ト云フカ

341	嫉妬	ヤキモチ	
342	悪口	ワルクチ	私語
343	喧嘩	ケンクワ	
344	絶交	ゼツコー	
345	仲間外れ	ナカマハズレ	
346	共有	モヤイ	
347	頼母子	タノモシ	
348	心配事	シンバイゴト	
349	縁起	エンギ	
350	運	ウン	

351 避病院 ヒビョーイン

352 鳥打帽 トリウチボー

353 左利 ヒダリキキ

354 倒 サカサマ

355 私の家

356 一頭(獸) 一尾(魚)

357 一返

358 二合五勺 五合

359 一升

360 二分ノ一 三分ノ一

◀ 農 村 語 彙 ▶

開墾地 新田

田*

苗代田

畑*

焼畑

種池

用水池 堤防

畔

畦

水口

牡馬	
牝馬	
子馬	
馬言葉	
牡牛	
牝牛	
子牛	
牛言葉	
肥料*	
肥桶	肥溜

馬言葉、牛言葉トハ牛馬ヲ進退サセ、又ハ左行、右行セシムルニ用キル言葉ナリ
肥料、草肥、堆肥、下肥、金肥ナドノ別ガアル

田主	
小作	
作男	作頭
早乙女	
労働交換	
功程	割當
竹笠	
簞*	
鳴子	水車
案山子	

労働交換トハ田植ナドニ互ニ力ヲカシ合フ制度ナリ、ゆひト云フモノ
功程、一人分ノ仕事ニテはかナド云フモノ

鋤*	
鍬*	
鎌	
稻扱	
連枷	
稻架	
稻村	
白*	杵
篩	箕
俵	俵蓋

道祖神祭	
代踏み	
田植初(さんばい下し)	
田植祝	休日
虫送	
雨乞	風祭り
亥子	
刈上祝 (こぼしあげ)	
山神祭	
凶年	豊年

◀ 漁 村 語 彙 ▶

沖	漁場
潮*	餘波
日和*(天氣)	
魚群*	
船頭*	
魚行商人	
潜水夫	海女
沖着物(仕事着)	
大漁着	
辨當	

潮ニハ滿潮、干潮、潮合ヲ初メトシ多クノ名稱アリ

船頭ニハ其ノ職分ニヨツテ種々ナル名アリ

和船*	
船ノ各部ノ名*	
發動機船	
釣竿 ツリザオ	餌 エサ
網*	
生簀*	
魚籠*	
大漁祝	前祝
出漁	出漁する
歸港	舟揚場

◀ 山 村 語 彙 ▶

山脊 (オネ)	
山稜裏 (ソテ)	
谿谷 (サワ)	
合流點 (ドー)	
急傾斜地 (ママ)	
緩傾斜地 (ハバ)	傾斜面(ヒラ)
山袴	雪袴
脊負梯子	
山刀	
斧	

雪*
吹雪
雪崩
雪橇
雪帽子*
雪沓*
除雪具*
雪除屋根 (ガンギ)
雪に関する遊戯
雪女郎

北越雪譜参照

361	驚く	オドロク(四)	
362	怒る	オコル(四)	
363	呻る	コマル(四)	
364	泣く*	ナク(四)	
365	叫ぶ*	サケブ(四)	
366	叱る	シカル(四)	
367	呻る	ウナル(四)	
368	睨む	ニラム(四)	
369	目が覚める	メガサメル(一)	
370	嗅ぐ	カク(四)	香ふ

(四)四段動詞、(一)一段動詞

文法ノ心得アル人ハ各語ノ次ニ活用ノ種類ヲ記サレタシ

364. 泣くニハ種々ノ程度アリテ、云ヒ方變ハル

369. 睡眠ヨリ覺ムルナリ

371	歩く	アルク(四)	
372	倒れる	タオレル(一)	
373	正座す	スワル(四)	
374	胡座す	アグラオカク(四)	胡座
375	安座す	ラクニイル(一)	寝る
376	負ふ*	ニナウ(四)	
377	抱く	ダク(四)	持上る
378	弄る	イジル(四)	
379	打擲す	ウツ(四)	
380	破壊す	コラス(四)	

376. 負ふハ人ヲ背負フ場合、荷ヲ負フ場合ナドニテ相違アリ

379. アンナグル、ヒツパタク、ナド接頭語ノツクコト多シ

381	戯れる	フザケル(一)	
382	虐める	イジメル(一)	
383	嘲弄す	カラカウ(四)	
384	威す	オドス(四)	
385	羞む	ハニカム(四)	
386	始める	ハジメル(一)	始まる
387	寄越す	ヨコス(四)	
388	なさる	(四)	なさい
389	下さる	(四)	下さい
390	死ぬ*	(四)シヌ、ナクナル、オカクレニナル	

388. 「爲る」ノ敬語動詞

389. 「與へる」ノ敬語動詞

390. 「死ぬ」ハ人ト動物トニヨリテ種々ノ方言アリ、動物モ種類ニヨリテ違ヒ、人ノ場合モ身分ニヨツテ違フ

391	孵る	カエル(四)	
392	生える	ハエル(一)	成長する
393	腐る*	クサル(四)	
394	實が落ちる	ミガオチル(一)	
395	失なる	ナクナル(四)	探す
396	下りる	オリル(一)	落ちる
397	整理する	カタズケル(一)	
398	出来る	デキル(一)	出る
399	居る	イル(一)	
400	堪へぬ		

393. 飯、魚 肉等ニヨツテ言葉が違フ

396. 地方ニヨツテハ下りるヲオチルト云フ

398. 地方ニヨツテ出来るト出るトヲ逆用ス

399. 地方ニヨツテハ「オル」ト云フ、又「有る」ト混用ス

地方ノ動詞ニツキ注意スベキ點

1. 敬語動詞「オヨル」(寢)「オヒンナル」(起きる)「アガル」
(食す)ノ類ノ多少
2. 強勢ノ接頭語ノ有無、「ブンナゲル」「ハンコケル」「ケキユル」

401	善い ヨイ	
	善い人	善くない
	善いけれども	善ければ
402	賢い カシコイ	狡猾な
403	可愛い カアイイ	
404	可愛相だ カワイソーダ	
405	醜い ミニクイ	變な ヘンナ
406	汚い キタナイ	
407	恐しい コワイ	
408	淋しい サビシイ	
409	くすぐつたい	
410	じれつたい	

411	大きい	オーキイ	太い
412	小さい	チーサイ	細い 細かい
413	柔かい	ヤワラカイ	
414	暖かい	アタタカイ	
415	眩しい	マブシイ	
416	不味い	マズイ	
417	焦臭い*	キナクサイ	
418	丈夫だ*		
419	持ちがよい		
420	粗末だ		

417. 焦ゲル物ニヨリ言葉が違フ

418. 人間ノ健康ナ事ト、物ノ堅牢ナルトノ別アリ

421	五月蠅い	ウルサイ	
422	面倒くさい	メンドクサイ	
423	忙しい	セワシイ	
424	苦しい*	クルシイ	つらい
425	大儀だ	タイキダ	
426	ひだるい		
427	惜しい	オシイ	惜しむ
428	羨しい	ウラヤマシイ	羨む
429	恥しい	ハズカシイ	
430	氣の毒だ	キノドクダ	

423. 「セワシナイ」トモ云フ

424. 苦シキ性質ト種類トニヨリ言葉が違フ

下ノ形容詞=類似ノ方言アラバ其ノ形ト意義トヲ記スベシ

1 かなし

2 うたてし

3 うとまし

4 おぞし

431 そんな

そんなに

そんなだ

432 常に イツモ、シジュー

433 度々 タビタビ

434 先刻 サツキ

435 後刻 ノチホド

436 直に スグニ

437 一寸 チョット

438 久しく ヒサシク

439 不意に フイニ

440 何故に ナゼ

441	澤山	タクサン
442	甚だ、非常に	
443	悉く	コトゴトク
444	全く、少しも	
445	是非	セヒ
446	屹度	キツト
447	態々	ワザワザ
448	反つて	カエツテ
449	生憎	アイニク
450	好都合に	イイアンバイニ

444. 全く知りませんノヤウニ否定ヲ伴フ

451	漸く	ヨーヤク
452	丁度	チヨード
453	一番、最も	
454	其故	ソレダカラ
455	けれども	
456	はい*	(單ナル答)
		(承諾ヲ示ス)
457	さうですよ	
458	いいえ	嫌だ イヤダ
459	もしもし	
460	おやおや、あらまあ	

456. 身分ニヨリ「ウン」、「アイヨ」ナド種類アリ

461 朝の挨拶 オハヨーゴザイマス

462 日中の挨拶 コンニチワ

463 夜の挨拶 コンバンワ

464 就寝前の挨拶 オヤスミナサイマシ

465 訪問の応答 (客)ゴメンクダサイ
(主)イラッシヤイマシ

(客)

(主)

挨拶ハ性、年齢、身分ニヨリ差アレドモココニハナルベク地方
特有ノ形ヲエラムコト

466 辭去の挨拶 (客)オジヤマイタシマシタ
(主)オソソイータシマシタ

(客)

(主)

467 別辭 サヨーナラ、サヨナラ
ゴキゲンヨー

468 贈物の禮 アリガトーゴザイマス
オキノドクサマ

469 出入の挨拶 (出)イツテマイリマス
(入)タダイマ

(出)

(入)

470 吉凶の挨拶 オメデトーゴザイマス
トンダゴトデシタ

(吉)

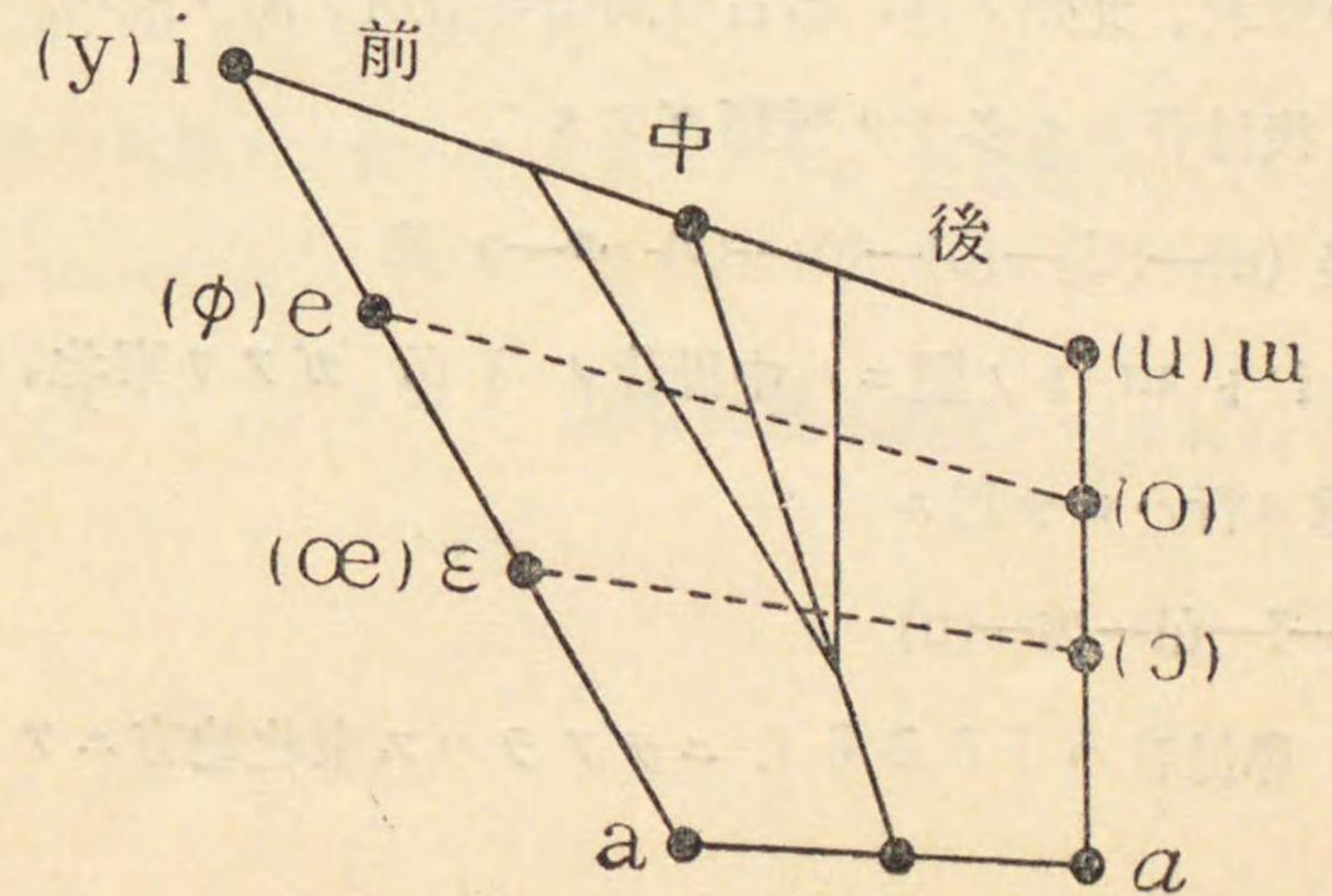
(凶)

音韻編

1. 音韻調査ハ母音、子音、及ビ音節ニツイテ行フ
2. 音韻調査ハ語頭音、語中音、語尾音ニワケテ觀察スル
3. 音韻變化ハ音節ヲ單位トシテ觀察スルガ便利デアル
4. 音韻變化ハ其勢力ニ強弱ノ別アリテ例外ナク規則的ニ行ハルルモノアリ、僅ニ二三語ノ例アルニ過ギザルモノアリ、ソノ程度種々アリ

基本母音圖

地方語ノ母音ノ舌ノ位置ヲ、書キ入レラレル人ハ、下ノ圖表ニ書キ入レテ下サイ



第一母音

1. 母音ヲ次ノヤウニワケル

- 1. 調音部位ニヨリ、前母音、中母音、後母音
- 2. 口ノ開キ方ヨリ、小開母音、半開母音、大開母音
- 3. 唇ノ形ヨリ平口母音、圓口母音

2. 母音ハ無數ニアルガ其中、基本母音ト認メラレタモノハ前頁ノ12母音デア、()ニテ圍ンダモノハ圓口母音デア

3. 前母音ニモ多クノ種類ガアル

前 i—I—e—è—ε—æ—a 後

(y)—(Y)—(ø)—(Ø)—(œ)

東京ノエ音ハ è 音ニ近イ、越後ノエ音ガ e 音ニ近イ、æ 音ハ東北、九州ノ外、名古屋岡山等各所デ聞カレル

4. 後母音ニモ多クノ種類ガアル

後 (u)—(U)—(o)—(ò)—(ɔ)—(ɔ̃)—a 前

5. i ト u トノ間ニハ中母音ノ ī ü ガアリ東北、出雲、琉球ニ行ハレテ居ル

i—ī—ü—u—(u)

6. 鼻母音ハ ī ē ã õ ù ニテアラハス東北地方ニアル

7. 母音ノ音質ハ以上述ベタ調音部位、口ノ開キ方、唇ノ形ナドカラ調査スル

8. 母音子音ヲ調べル簡單ナ器械的方法ハ人工口蓋ヲ使用スルコトデア

9. 基本母音ハ語學レコードニ依ツテ之ヲ習フコトガデキル

母音轉換

1. 母音ノ轉換ハ同質ノ母音ノ間ニ行ハレル例ヘバ前母音ノ i ト e. 後母音ノ (u) ト (o) トノヤウナモノガヨク轉ジル

2. 母音ノ中デ最注意スベキ轉音ハ次ノ二重母音デア
ai, ae oi, oe, ui, au, ei

3. 母音ハ又長サヲ變ヘルコトモアル。長母音ハ(:)ニテ示ス
a:, i:, u:, e:, o:

4. 次頁以下ニ示シタモノハ母音轉換ヲ調査スベキ材料デア

1 煙草	11 錢
2 疊む	12 帶
3 犬	13 兎
4 絲	14 鶯
5 石	15 沼
6 虹	16 懷
7 雲雀	17 二つ
8 虱	18 筵
9 一つ	19 百合
10 針	20 煙管

以下轉換ノ主傾向ニヨリ分類シタレドモ、調査者ハ標語ニ對スル地方ノ訛音ヲ記スベシ

- 1-2. ア母音の轉換
- 3-12. イ母音の轉換
- 13-20. ウ母音の轉換

21 枝	31 挨拶
22 鉛筆	32 開會
23 部屋	33 大工
24 ^{ヨウメシ} 夕飯	34 めでたい
25 涎	35 長い
26 啞	36 蠅
27 大水	37 鯉
28 顔	38 ^{オシロイ} 白粉
29 ^{モグラモチ} 土龍	39 單衣
30 泥	40 ^{オトトヒ} 一昨日

- 21-25. エ母音の轉換
- 26-30. オ母音の轉換

- 二重母音 31-36. アイ、アエの轉換
- 37-40. オイ、オエの轉換

41 手拭	51 幽靈
42 水道	52 齒
43 朔日	53 目
44 寒い	54 螢
45 逢ふ	55 白い
46 買ふ	56 箒
47 拾ふ	57 庖丁
48 思ふ	58 焼酎
49 時計	59 雑巾
50 兵營	60 ^{ユーベ} 昨夜

41—44. ウイの轉換
 45—48. アウ、オウの轉換
 49—51. エイの轉換

52—55. 短母音ノ長音化
 56—60. 長母音ノ變化

第二子音

1. 子音ヲ次ノヤウニワケル
 1. 調音部位ニヨリ唇音、齒唇音、齒音、口蓋音、聲門音
 2. 通路ニヨリ破裂音、鼻腔音、流動音、摩擦音
 3. 聲帶振動ノ有無ニヨリ有聲音、無聲音
2. 子音ノ轉換ハ多ク同質ノ子音ノ間ニ行ハレル
3. 連音ノ關係上種々ナル同化作用ガ行ハレル

子音圖表

音	唇	齒唇	齒	口蓋	聲門
破裂	p b		t d	c k g	ʔ
鼻腔	m		n	ɲ ɳ	
流動			l		
			r		
摩擦	f w	f v	θ ð s z ʃ ʒ	ç j (w)	h

61 蛭	71 蜘蛛の巣
62 砂	72 鞭
63 洗濯	73 油
64 缺く	74 皺
65 端	75 芝
66 嘴	76 南
67 河豚	77 齒磨
68 小使	78 濁る
69 今度	79 ^{ヌカゴ} 零餘子
70 土瓶	80 ^{ヤモノ} 寡婦

61—65. 有聲化
 66—70. 無聲化
 71—75. 唇音ノ轉換
 76—80. 鼻音ノ轉換

260981

81 ^{オノレ} 汝	91 座布團
82 霰	92 風
83 立派な	93 涼しい
84 來年	94 満足
85 留守	95 喉
86 めでたい	96 草履
87 子供	97 先生
88 佛壇	98 蟬
89 鯨	99 城
90 水	100 沈む

81—95. 齒音ノ轉換
 82—85. ラ行音ノ轉換
 86—90. ダ行音ノ轉換
 91—96. ザ行音ノ轉換
 97—100. サ行音ノ轉換

260982

101 十里	111 姉さん
102 順番	112 知りません
103 主人	113 さうかい
104 書物	114 君
105 百姓	115 お客
106 火鉢	116 ^{ケフ} 今日
107 人	117 中學校
108 叱る	118 櫛
109 質屋	119 ^{フケ} 雲脂
110 下	120 畑

101—104. ジャ行、シヤ行
 105—110. 「ヒ」ト「シ」
 111—113. 「サ」行ト「ハ」行
 114—120. 口蓋音ノ轉換

121 火事	131 茶袋
122 菓子	132 手毬
123 牛乳	133 百舌
124 夢	134 梅
125 雪	135 ^{ウバ} 乳母
126 露	136 葬禮
127 鰯	137 晝寢
128 襟	138 天狗
129 榎	139 ^{アスコ} 彼處
130 ^{イニ} 家	140 德利

121—123. 拗音ノ直音化
 124—130. ヤ行
 131—138. 鼻音同化等
 139—140. 促音同化

141 追ふ	151 釣瓶
142 ^{ニホヒ} 香	152 身體
143 賑か	153 蓬
144 何だ	154 ^{ツグミ} 鶉
145 瓦	155 輕業
146 車	156 分限者
147 ^{イキホヒ} 勢	157 小指
148 枇杷	158 右
149 桑	159 煙突
150 ^{キノフ} 昨日	160 停車場

141—150. 音ノ増加省略等
 151—156. 音ノいれかはり
 157—160. 類推ノ誤ト思ハレルモノ
 小指(コヤイビ)右(ミギリ)
 煙突(エンタツ)停車場(ステンシヨ)

第三 アクセント

名詞、動詞、形容詞ニツキ若干ノ同音異義語ヲアゲルニ止メル。
 各語ノ次ニ記シタノハ東京語ノアクセントデアル

161 日 下 ヒ	171 産む 下中 ウム
162 火 上 ヒ	172 膿む 上中 ウム
163 名 下 ナ	173 蕙 下上上 ムシロ
164 菜 上 ナ	174 寧ろ 上中中 ムシロ
165 鼻 下中 ハナ	175 蛙 下中中 カエル
166 花 下上 ハナ	176 歸る 上中中 カエル
167 音 下中 オン	177 厚い 下中中 アツイ
168 恩 上中 オン	178 暑い 下上中 アツイ
169 蔓 下上 ツル	179 鳴らす 下中中 ナラス
170 鶴 上中 ツル	180 馴らす 下上中 ナラス

161—162. ヒニヤケル
 163—164. ナチツケル(名チ付ケル)(菜チ漬ケル)
 166. 花(人名)上中 お花(人名) 下上中

方言ノ音韻現象

方言ノ音韻現象ニハ特ニ次ノ點ヲ記載スル

1. 東京語ニナキ母音(東北ノ ü 音ノ如キ) 東京語ニナキ子音(f. vノ如キ)
2. 東京語ニアリテ地方ニナキ音(yノ如キ)
3. 東京語ニナキ音節(si. ti. jeノ如キ)
4. 地方ニ例外ナク規則的ニ行ハレ居ル轉音現象(東北ノ語中ノ k. tノ有聲化ノ如キ)

語法編

1. 語法ノ取調べハ頗ル困難デアル、ココニハ文例ノ方言譯ヲ以テ語法調査資料トスル
2. 文例ヲ方言譯ニスル場合ニハ出來ルダケ純粹ノ方言形ニ譯スコト、但シナルベク語序ハ原文ニ從ヒ、原文ノ通ニ句讀ヲウツ
3. 方言譯ハ全文、發音通りノ假名ニテウツス、數字モ必ズ假名ニスルコトト、てにをは特ニ、は、を、へ等ヲ發音通りニ「ワ、オ、エ」ノ如ク書キ直スコト注意
4. 各文例ハ數個ノ語法資料ヲ含ンデ居ル、ソノ中デ特ニ重要ナ點ハ施線シテ示ス
5. コノ文例ノ方言譯ハ如何ニ巧妙ニ譯シテモ所詮逐語ノ直譯ニナルカラ、全文ヲ自然ノ方言ト誤解セヌコトガ必要デアル、要ハ語法ノ各形式ダケヲ知レバ足ル、シカシ、譯ストキハ全文ヲ悉ク純粹ニ方言化スルコトニツトメルコト
6. 男女老幼ニヨツテ別ニ試ミレバ最可ナリ

1 お前達は、六時前に、起きなければ、いけないよ。

2 旅行は、延びるか、延びないか、まだ、わかりません。

3 賣つてゐないのなら、借りるよりほか、しかたがあるまい。

4 あいつは、仕事に、飽きると、すぐ遊びに出る。

5 死ぬ人も、あるし、生れる者も、あるのだ

6 兄は、病気で、寝てゐるが、弟は、元気で、鞠を、蹴つてゐる。

7 外出しないで、今日は、勉強せねばならん。

8 酒を、飲んだり、歌を、歌つたりして、半日、遊んで、しまつた。

9 私が、落した本は、たしかに、拾った人が、あると思ふ。

10 便りが、来なくても、案じないで、待つておいで。

11 よく御覽、これと、それと、どつちが、古い？

12 お医者様に、早く、見てもらふ方が、いいでせう。

11—15. 形容詞活用

13 畑に、花が咲いた。黄色なのは、菜の花で、白いのは、大根だ。

14 下の、狭い座敷に、雨が、漏つてる。

15 むづかしい本でも、假名を、つけたなら、おれにも讀める。

16 こんな、うるさい所では、何一つ、考へられない。

16—20. 可能、受身

17 去年は、行かれなかつたけれど、今年こそは、是非、行くつもりだ。

18 わたしたちは、妙な事に、母に、叱られるのが、一番、恐しかった。

19 君は、すゐぶん、ひどく、蟲に、くはれたね。蚊が食つたのさ。

20 あなたも、奥さんに、永く、寝られて、さぞ、お困りなすつたでせうな。

21 誰かに、風呂に、水を、入れさせろ。
下女に、火を、たかせる。

22 何かと、思つて、下女に、見させたら、大きな、犬だつた。

23 あれを、ここへ、來させることは、いけない。

24 花や、豆は、もつと、よくお煮よ。堅くて、石のやうだ。

25 一寸來い、此處を見ろ、このいたづらは、きさまだらう。

26 墨で、お書きなさい。
筆は、どこです。

27 これを、十錢ほど、買つて下さい。

28 おい、本を、どれか、とつて呉れ。

27—28. 希求

29 お前はもう、あんな事を、するな。
決して、そんな事は、致しますまい。

30 どなたも、お静になさい！ 騒がずに下さい。

31 そこの港から、あすこの島までは、發動船で、
行かう。

32 あの蜜柑は、酸っぱいから、捨てよう。とても食べられるもんか。

29—30. 禁止

31—35. 意向

33 買物がてら、町へ、一緒に行かないか。行くとも。
行つてみよう。

34 飲みながら、話ませう。まあゆつくりなさいまし。

35 わたしが、教へて上げよう。

36 新聞は、そつちに、ないか。
はい、ございません。

36—39. 疑問

36. 否定ノ前ノ答ハはいカ いゝえカ

37 それは、先生の本か?
いゝえ、學校のです。

38 その花は、いくら?
はい、二十錢で、ございます。

39 入物ごと、いたゞいても、宜しう、ございませう
かしら?

40 今夜は、冷えるから、夜中に、雪が降るだらう。

40—45. 接續助詞

41 雨ばかり、降つてゐたのに、やつと、霽れたので
 氣持がよい。梅雨も、あけるらしい。

42 その柿は、赤いけれども、澁からう。

43 風こそ吹くけれど、雨が降らないものだから、人
 出が多い。

44 蚊さへ、少ければ、夏は、冬より、凌ぎやすい。

45 それから、南の方へ、二三丁ぐらゐ、行くと、
 停車場へ、出ました。

46 あのかたは、山田さんと云はれる方です。

47 誰やらが錢を、ここらで、なくしたさうだ。

48 本だの、繪だの、色々、いたゞいて、ありがたう
 ございます。

49 菓子が、食ひたい。湯なり、水なり、ほしい。
それだけしか、ないのか。
それきりです。

50 旗が立ててある、御祭らしい。さうさう、初午だ
つけ。

51 昨日、花見に、行つたらう？
行つたところが、雨に降られた。

52 叔母さんが、おでかけになる。おたけ(人名)がお
供申す筈です。

文例中ノ重ナル語形索引

代名詞。自稱 9, 15, 18, 35。對稱 1, 19, 20, 25, 29。他稱
4, 23, 30, 46, 47。|| 事物 11, 23, 28, 49。場所 23, 26,
31。方角 11, 36。形容 16, 29。

助詞。が。9, 12, 13, 18, 19, 49。の。13, 37, 49。に。4, 12,
19, 21, 51。を。(iノ次) 6, 21, 47。(u) 21。(e) 8, 23。
(n) 28。は。(i) 1, 6, 19。(u) 4, 44。(e) 24, 26 (n) 9,
17, 32, 36。と。9, 11, 22, 46。へ。23, 45。より。3, 44,
から。31。まで。31。て。6, 26。|| が。51。ても。10。
ながら。34。し。5 || も。5。さへ。44。でも。15。こ
そ。17, 43。ばかり。41。だけ。49。ほど。27。ぐらゐ。
45。ほか。3。しか。49。きり。49。なり。49。だの。
48。やら。47。がてら。33。|| や。24。な。20。ね。19。
よ。1。さ。19。とも。33。

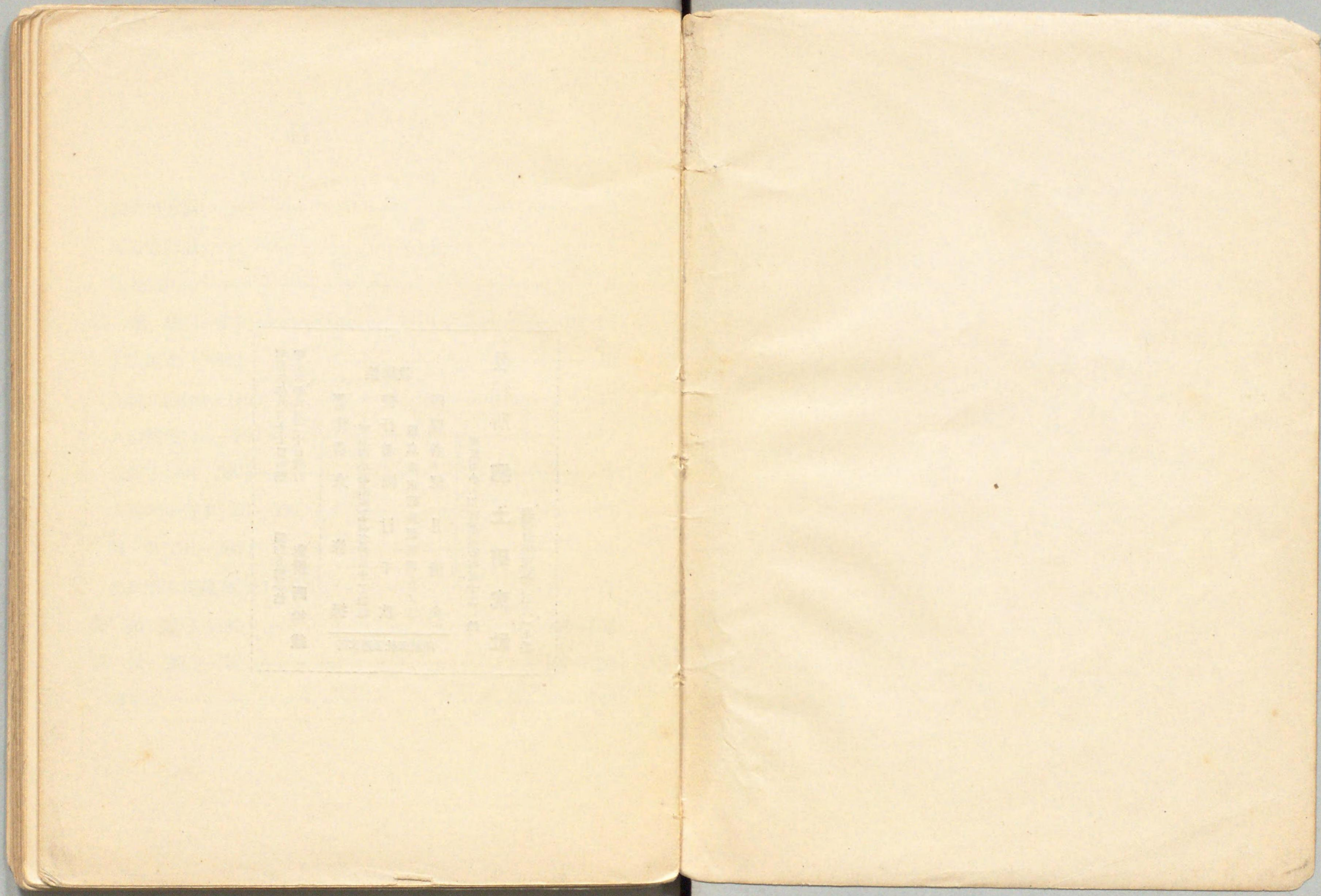
助動詞。(打消)ない。2, 3, 16, 33。ないて。7, 10。なかつた。
17。なければ。1, ず。30。ねば。7。|| (時)一た。13, 18,
51。たら。22。たり。8。たらう。51。しまつた。8。て
ゐる。6。てる。14。てある。50。|| 推量一らしい。50。
まい。3, 29。だらう。25, 40。|| 指定一だ。13, 17。の
だ。5。だつた。22。だつけ。50。て。13。な。13, 18。
なら。3, 15。です。26, 37, 52。でせう。12, 20。|| 敬
讓一れる。46。なさる。20, 30, 34。になる。52。| ます。
29。ません。2。ませう。34。まし。34。ました。45。
ございます。38, 48。ございませう。39。|| 雜一たい。
49。やうだ。24。さうだ。47。

目 次

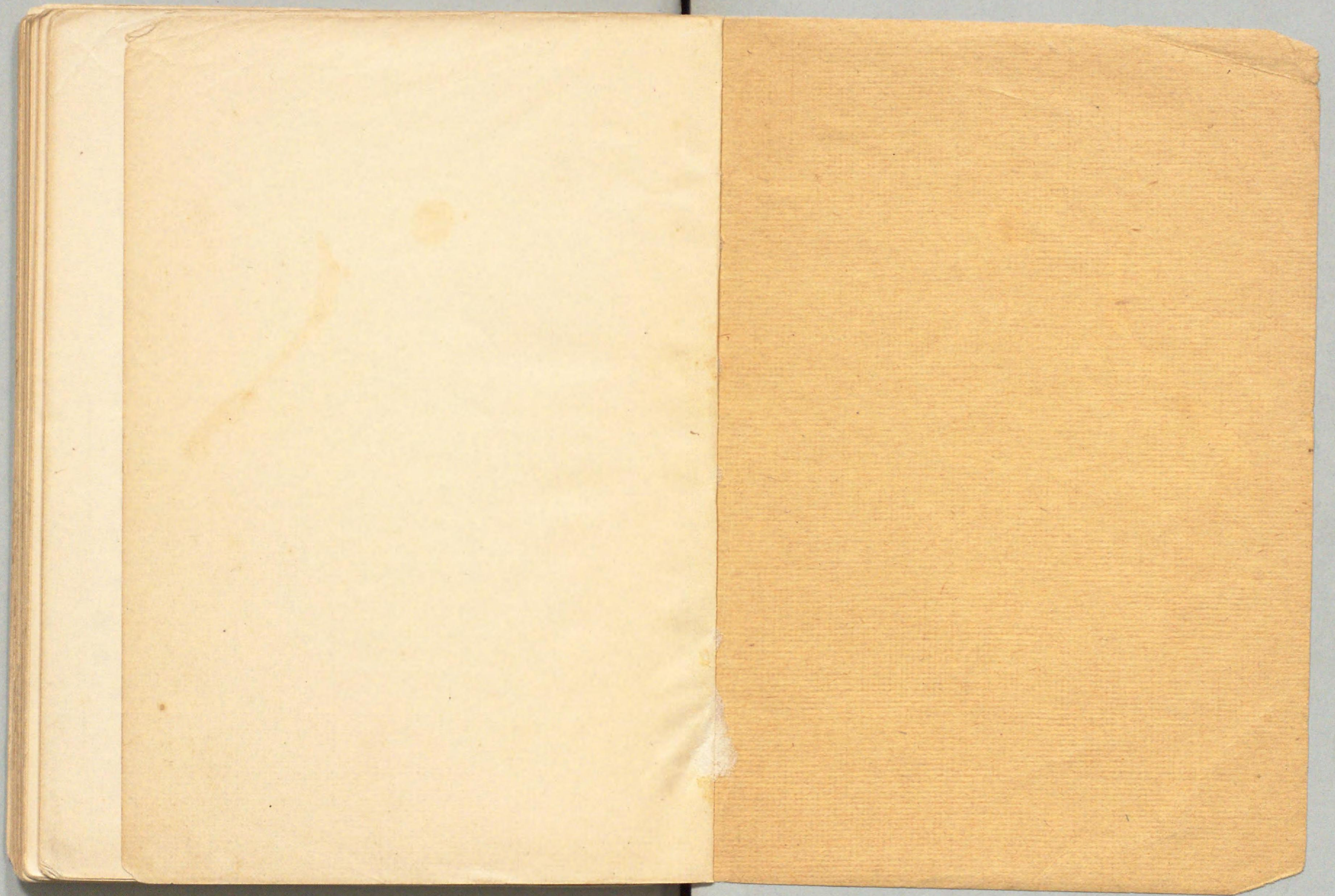
	頁
調査地方圖.....	2
地方音節表.....	4
音表記法.....	8
語彙編(1—470).....	10—92
天文地理(1—40)	10
動物植物(41—110)	17
人倫肢體(111—200).....	27
衣食住(201—290).....	39
人事年中行事(291—330)	51
雜載(331—360).....	61
動詞形容詞雜詞(361—470)	77
音韻編(1—180)	93—106
語法編(1—52)	107—120
終りに	122

<p style="text-align: center;">發行所</p> <p style="text-align: center;">郷土研究社</p> <p style="font-size: small;">振替口座東京二三九一七番</p>	<p style="text-align: center;">東京市小石川區茗荷谷町五十二番地</p>	<p style="text-align: center;">禁轉載</p> <p style="text-align: center;">發行者 岡村千秋</p> <p style="text-align: center;">印刷者 望月清矣</p>	<p style="text-align: center;">著作者 東條操</p>	<p style="text-align: center;">昭和六年八月十七日印刷</p> <p style="text-align: center;">昭和六年八月二十日發行</p> <p style="text-align: center;">簡約方言手帖</p> <p style="text-align: center;">定價四拾錢</p>
---	---	--	--	--

所刷印社信通文英



廣東省立第一師範學校
 圖書館
 民國二十九年
 廣東省立第一師範學校
 圖書館
 民國二十九年



818

To636k2



00260981